

# 9

## 外国籍県民等の人権

# ちがいをみとめ、みんなで生活しよう

### 1 学習対象

小学校4年生～6年生、中学生

### 2 ねらい

自分にとっての当たり前が、他の人にとっては必ずしもそうではないことに気づき、ちがいを認め、共に生きる多文化共生の心を育む。

### 3 準備するもの

- ワークシート
- 国や地域の国旗カード（授業で扱う国や地域のもの）

### 4 解説

令和4年1月1日現在、神奈川県における住民基本台帳上の外国人数は222,018人で国・地域数は172か国となっています。コロナウイルス感染症の流行の影響等から、少し減少がみられたものの、国・地域数ともに非常に多くなっています。外国籍県民が増加する中で、多様な文化や民族の違いを理解し、認め合うことのできる人権感覚を児童・生徒に育成することが大切です。

このワークでは、外国の学校の様子や日常生活の様子を参考にしながら、自分自身の当たり前の感覚を見つめなおすことで、異なる文化とのつながりがある友だちと、どう関わるとよいかを考える機会とします。自分の国の文化と外国の文化の共通点や相違点に対し、前向きに理解していこうという意識を高め、多文化の中で共生していこうとする意識を育てていきます。

### 5 進め方（展開例） 45分または50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習の確認（2分）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れや留意点の説明を聞く。</li> </ul> </li> <li>◆アイスブレイキング（8分）               「ワールドじゃんけん」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な国や地域のかけ声でじゃんけんに挑戦する。</li> <li>・クラスの児童・生徒数に応じて何種類かかけ声を決める。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れを簡単に説明する。</li> <li>・P4【学習の約束】を伝える。</li> <li>・クラスに外国につながりのある児童・生徒が在籍している場合には、その母国語のじゃんけんを取り上げるとよい。</li> <li>・勝ち負けにこだわらず、仲良く活動することが目的であることを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や地域の国旗カード（提示用）</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国 「가위, 바위, 보! (カウィ、バウィ、ボ!）」</li> <li>・アメリカ 「Rock, paper, scissors! 1! 2! 3! (ロック、ペーパー、シザーズ!ワン!ツー!スリー!）」</li> <li>・中国 「石頭、剪子、布 (シートウ、ジェンス、ブ) 」</li> <li>・ドイツ 「Schere, Stein, Papier(シェーレ、シュタイン、パピア)」</li> <li>・インドネシア 「Suwit (スイー) 」</li> </ul> </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとって当たり前に行っているじゃんけんについても、外国では様々なやり方があり、ちがいがあることに気づく。</li> </ul> </div>			

<p>展開</p> <p>小学校 30分 中学校 35分</p>	<p>◆アクティビティ（小30分、中35分） 「ちがいをみとめ、みんなで生活しよう」 <b>アクティビティ1</b></p> <p>①外国の学校生活のクイズをしながら日本の学校との違いに気づく。 学ぶ教科、時間割、持ち物、服装、給食、掃除、行事、休日、義務教育の期間など</p> <p>②自分が外国の学校で生活することになったら、実際に何に困りそうかを考える。</p> <p><b>アクティビティ2</b></p> <p>③例示された学校生活の場面から外国につながるの児童・生徒に対してどのように関わることができるか考え、ワークシートに書く。</p> <p>④個人で考えたことをグループで共有する。</p> <p>⑤例示された学校生活の場面の続きを聞く。</p> <p>⑥自分はどのような支援ができるか（行動をとるか）考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスに外国につながりのある児童・生徒が在籍している場合には、その国の学校の様子をクイズにする。その際、当該児童・生徒と相談の上、本人を出題者とするなど活躍の場とするとよい。（参考資料）</li> <li>・日本との違いのみではなく、なぜそのような違いがあるのか、日本と外国の両方の文化のよさやおもしろさにふれる。</li> <li>・言語の違い等から、いろいろな意見が出ることが予想されるが、軽くふれる程度にとどめる。</li> <li>・ワークシートを配付する。</li> <li>・参考資料を読み聞かせる。</li> <li>・机間指導で活動の様子を確認し、書くことができていない児童・生徒には口頭で聞き取るようにする。</li> <li>・3、4人程度のグループで意見交換ができるようにする。</li> <li>・その国の文化や宗教上の理由でピアスをしている場合があることを知る。</li> <li>・考えたことをグループ、または全体で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考資料</li> <li>・ワークシート</li> <li>・参考資料</li> </ul>
<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめの話を聞く。</li> <li>・学習のふりかえりをする。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとっては当たり前と感じていることは、文化や生活環境から一人ひとり異なっていることに気づく。</li> <li>・自分の国の文化と外国の文化の共通点や相違点に対し、前向きに理解していこうという意識を高め、行動することが大切である。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業をとおして児童・生徒から出された考えや記述をもとに、ねらいをおさえ、まとめる。</li> </ul>	

<参考資料など>

「世界の学校を見てみよう！」 外務省ホームページ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/index.html>

「世界の学校生活を比べてみよう！」 株式会社明治ホームページ

<https://www.meiji.co.jp/meiji-shokuiku/worldculture/schoollife/>

ちがいをみとめ、みんなで生活しよう

( )年( )組( )番 名前\_\_\_\_\_

○外国からの転校生Nさんがピアスをして登校してきました。どのような<sup>かか</sup>関わり方ができるか考えてみましょう。

ピアスに気づいたあなたは、どうしますか？

①あなたは、ピアスをして登校してたことに気がつきました。あなたはどうしますか。

Blank response box for question 1.

②そう考えたのは、どうしてですか。

Blank response box for question 2.

③先生のお話を聞いて、あなたがNさんのためにできることは何でしょうか。

Blank response box for question 3.



○ふりかえり

今日の学習をとおして、気づいたことや感じたこと、学んだことについて書きましょう。

Blank response box for the reflection section.

## 参考資料

### アクティビティ1 <クイズ例>

「外国の学校生活のクイズをしながら、日本の学校との違いに気づく」

#### ○ 新年度

日本では、新年度が4月から始まります。では、次の国は新年度は何月から始まるでしょうか。

答え

オーストラリア → 1月      韓国 → 3月      タイ → 5月      アメリカ → 9月

#### ○ 学ぶ教科

日本の小学校で勉強する九九は9×9までが一般的ですが、イギリスの学校ではいくつまででしょうか。

①7×7   ②9×9   ③10×10   ④12×12      答え ④12×12

では、インドではどうでしょうか。

①9×9   ②12×12   ③15×15   ④19×19      答え ④19×19

世界中で、様々な授業が行われています。次のうち、本当にある授業はどれでしょうか。

①演劇   ②環境   ③手話   ④日本語

答え すべて正解      → ①演劇（アメリカ）   ②環境（スイス）  
③手話（ニュージーランド）   ④日本語（オーストラリア）

#### ○ 時間割

インドネシアでは、学校は朝何時に始まるでしょうか？

答え 朝7時      → 生徒の多くは朝4時30分のお祈りから1日が始まります。

#### ○ 給食

世界には、朝食やおやつが給食になっている国がある。○か×か。

答え ○      → ペルーでは、学校が朝8時から午後1時までで、朝食の給食が出る学校があります。  
ブルガリアでは、給食がない代わりに、午前10時におやつが出る学校があります。

#### ○ 休日

日本の学校は、土曜日と日曜日が休みの日となっています。では、次の国の休みは何曜日でしょうか。

イラン      答え 木曜日と金曜日      バーレーン      答え 金曜日と土曜日

#### ○ 義務教育の期間

日本では小学校は6年間ですが、次の国の小学校は何年間でしょう。

ロシア      答え 4年間      ケニア      答え 8年間      ベトナム      答え 5年間

## アクティビティ2 <学校生活の例示①>

「③例示された学校生活の場面から外国につながりのある児童・生徒に対しどのように関わることができるか考え、ワークシートに書く。」

ある日、クラスに転校生が来ることになりました。その転校生は女の子で、外国からやってきます。

「どんな子がくるのだろう?」「どんな言葉を話すのかな?」「仲よくなるにはどうすればいいのかな?」クラスの間がわくわくした気持ちになっていました。

朝の会に、担任の先生といっしょに、エジプトからの転校生「Nさん」がやってきました。担任の先生から、クラスみんなに「Nさんはまだ学校のことがわからずいろいろ大変だろうから、みんなで教えてあげたり、助けてあげたりしていきましょう。」と話がありました。

その後、あることに気づきました。なんと、Nさんの耳にはピアスがついているではありませんか。学校でピアスをつけているのはNさんだけです。

ピアスに気づいたあなたはどうしますか。

## アクティビティ2 <学校生活の例示②>

「⑥例示された学校生活の場面の続きを聞く。」

外国では、その国の文化や宗教上の理由でピアスをしている場合があります。例えばエジプトでは、魔除けの意味で赤ちゃんにピアスをするということが一般的に行われているそうです。

エジプトでは、生後7日目に”スプー”と呼ばれる誕生祝いを行い、名づけとともにピアスの穴あけをします。これは、家族や親戚で盛大に祝う儀式となります。儀式の一環として身につけたピアスは、とても大切なものとして認識されています。

エジプト以外の国では、インドが宗教的な文化で乳幼児からピアスを身につける習慣があります。

他にも、ブラジルやスペイン、フィリピンなど多くの国において子どもの頃からピアスを身につける文化があります。

世界には、生まれた時に親から贈ってもらったピアスをずっと身につけ、成長していくという国が存在するのです。